

科目分類	専門分野	学 年	1 年	担当教員の氏名・職名
授 業 科 目 名	老年看護援助論	学 期	後期	室岡 裕子（看護教員）
		単 位 数	1	
		時 間 数	30	
目 的 (ねらい)	生活機能に視点を置き、高齢者の日常生活を支える援助の方法を学ぶ。また、セルフケア能力を高め、QOLを充実させる看護の方法を学ぶ。			
目 標	1. 加齢に伴う変化が日常生活に与える影響を理解する 2. 高齢者の日常生活を支える看護技術を習得する 3. セルフケア能力を高め、QOLを高める看護の方法を理解する			
授 業 計 画	回数	単元項目	内容	授業形態
	1	高齢者ケアの基本	QOLを支える看護とは 日常生活活動の評価	講義
	2	転倒のアセスメントと看護	転倒リスクのアセスメント 転倒予防の看護	講義
	3・4	廃用症候群のアセスメントと看護	高齢者と廃用症候群 早期発見・予防に向けた看護	講義・演習
	5			
	6	コミュニケーションの援助	難聴	講義
		コミュニケーションの援助	言語障害	講義
	7	食事・食生活の援助	高齢者に特徴的な変調 食生活のアセスメント	講義
	8	食事・食生活の援助	食生活の支援 嚥下リハビリテーション・栄養補助食品の体験	
	9	食事・食生活の援助	食事摂取困難な高齢者への看護	演習・GW
	10	食事・食生活の援助	胃瘻栄養を受ける高齢者の看護	講義
	11	排泄の援助	便秘・下痢・尿失禁	講義
	12	清潔への援助	皮膚の清潔 褥瘡	講義・GW
	13	清潔への援助	整容・寝衣交換	講義・演習
	14	運動・休息の援助	生活リズム・睡眠	講義・GW
	15	高齢者のセクシュアリティ		講義
教 科 書	系統看護学講座専門Ⅱ 老年看護学 医学書院 看護過程に沿った対象看護 学研 写真でわかる臨床看護技術2 インターメディカ			
参 考 文 献	解剖生理学			
評 価 方 法	定期試験 80%、演習・GW 取り組み・授業態度 20%で評価する			
関 連 科 目	専門基礎科目：解剖生理学、臨床栄養学、リハビリテーション論 専門分野Ⅰ・Ⅱ：基礎看護学、成人看護学、在宅看護論			
自 己 学 習 に 関 する 指 針	テキストを事前に読んで授業に臨む			
そ の 他 の 通 知 事 項	随時質問に応じる			